

【講義と演習⑨】10月8日

【演習2】

情報シート～面接と数回の訪問、関係者から収集した情報を総合して把握された状況

(1) 聞き取ったこと

① 夫の達夫さん (47歳・男性) について

- 1年前まで飲食店を経営していたが、経済不況のあおりを受けて廃業に追い込まれた。現在は、気が向いたときだけ友人の飲食店を手伝っており、ほぼ毎日パチンコに通っている。達夫さんは子どもの頃から料理が好きで、自分の店を構えることが夢だったが、店を廃業に追い込んでしまったことで、目標を失い抜け殻のようになってしまった。
- 妻からは、パチンコばかりに通い、やる気のない態度を改めるよう注意されているが、妻の忠告を聞く気には一向になれず、家では口論が絶えない。
- ラーメン屋を廃業したことに傷ついて心を閉ざしてしまい、支援員に会おうとしない。妻によれば、本当は働きたい気持ちをもっているが、自信を失って今は就職活動をすることも考えられずにいるのではないかと思われる。
- ラーメン屋の資金繰りのためにカードローンから消費者金融から借入をしており、妻が請求書等で確認した範囲では、負債は約300万円にのぼっている。支払いが滞り気味で、催告の通知や取り立てが来ている。

② 妻の恵子さん (46歳・女性) について

- 1年前までは専業主婦だったが、夫が仕事を失って以来、家計を支える役割を担うために、パートを掛け持ちするようになった。現在、パン屋での販売 (9時～17時・月収13万円・社会保険なし)、喫茶店の手伝い (月収5万円)、スナックの手伝い (月収3～4万円) の3つの仕事をしている。専業主婦で仕事の経験が無いので、正社員で働くことは難しいと思っているが、できれば一か所で安定した仕事に就き、子どものために残業せずに帰宅したいと考えている。
- 収入は少なく生活はいつも苦しい状況にある。健康保険料や学校の給食費等の滞納があるが、全体を把握できていない。携帯電話も時々支払いが滞って不通になることがある。
- 以前は、ふさぎ込む夫の姿を見て不憫に思い、夫が立ち直るまで自分が頑張ろうと思っていたが、今は、いつまでも変わろうとしない夫の姿にいらだちを感じるようになった。
- 長女のことを心配しているが、長女が反発してきちんと話ができないことに心を痛めている。
- いまの状況を何とかしたいが、仕事に追われ時間が取れず、疲れが高じてイライラして夫や長女にあたることも多い。
- 学校と自立相談支援機関に協力してほしいと思っている。

③ 長女の里美さん (14歳・中学2年生)

- もともとは明るい性格で友だちも多かったが、小学校6年生の時に父親の飲食店が倒産したことを同級生にからかわれてからは、学校に行っても一人で過ごすことが多くなった。母親には、「友だちにからかわれたことは気にしていない。でも、無精ひげを生やしてイライラしているお父さんをみると、仕事が大変なのにお店の休みの日には必ず遊んでくれたお父さんがそんなふうになってしまうなんて辛くて、お父さんにどう接したらよいかわからない」と話している。
- 母親は長女について、小さい頃から勉強が好きで、言われなくても宿題をやっていたことを覚え

ている。家で落ち着いて勉強できず、だんだん授業にもついていけなくなってやる気も失ったのではないかと思っている。また、両親の口論が絶えなくて家の雰囲気が悪く、家にいたくないのではないかと察している。

○不良グループに誘われて夜に外出し、朝まで帰って来ないこともある。生活リズムが乱れて学校も遅刻や欠席が多い。

○母親には、「授業についていけない」「友だちがいない」「学校に行きたくない」と話している。

(2) 相談員が観察したこと、感じたこと

○母親はかなり疲れている印象を受ける。面接のなかで遠くを見たり涙ぐんだりする様子があり、相談員が話しかけると我に返って返答する場面もあった。夫や長女の状況を心配してはいても現実の生活に追われて、問題解決に動く余裕がないのではないか。

○長女は父親の様子に心を痛めている。休日には必ず長女と遊んでいたエピソードから、父親は長女をとててもかわいがっていた様子がうかがわれ、以前の家族関係は良好だったと考えられる。

○訪問した際には、夫が拒んだので妻や長女と玄関で話をするにとどまった。玄関は靴が散乱し、入り口に古新聞やチラシが積み上げられていたり、郵便がそのままにされていたりと雑然としていて、家事がおろそかになっている様子がうかがわれた。

(3) 学校から収集した情報

○里美さんは入学した当初は、いつも一人で教室に座っている大人しい印象の生徒だった。学習の遅れはあったが、教師が個別に質問したりすると懸命に考えて答えようとする姿勢は見られた。眠そうにして机に突っ伏していたりする様子は1~2か月位前から見られる。

○母親は学校から連絡すると必ず返事をくれる。給食費用や修学旅行の積立の支払いは時々、遅れることがある。父親は学校行事に参加したことはなく、里美さんから父親の話が出たのも今回が初めてである。